MITSUBISHI

三菱 電気 温水器

時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力8時間（通電制御型）

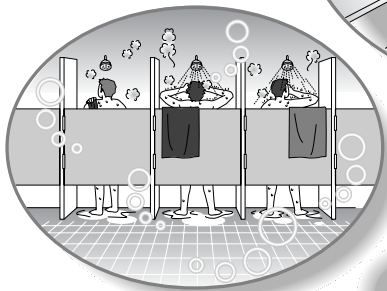
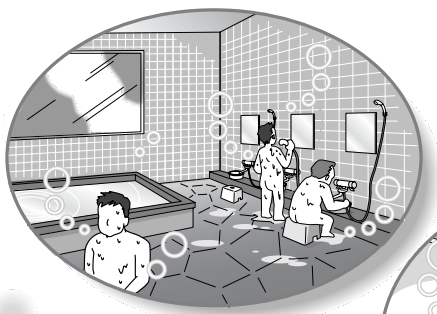
高圧力型　電気温水器

形名

エス アール テー　ビー ユー エー

SRT-556BUA（タンク容量:550L）

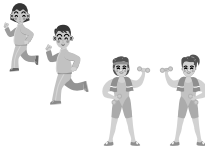
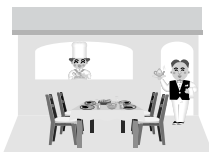
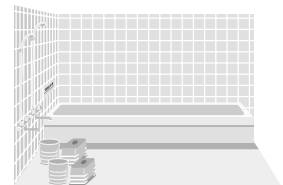
大容量給湯並列配管システム専用

取扱説明書

リモコン
（同梱品）

形名表示

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」を必ず読み、大切に保管してください。
●お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
●「保証書」「据付工事説明書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。
温水器を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。
●「据付工事説明書」のとおりに据付工事が行われているか確認してください。
※「据付工事説明書」のチェックリストや工事完了後の確認を活用ください。

特長

●この温水器を複数台接続することにより、お湯を大量に使うことができますので、いろいろな用途に使用できます。内部に搭載された電動弁の制御（お湯がなくなると自動停止）により、**「大容量給湯システム」**としての利用が可能になりました。

病院で…　スポーツクラブで…　厨房に…　宿泊施設で…

レストランで…　工場で…　洗面に…　風呂に…

●この温水器は**「高圧力型」**ですので出湯量も多く、2階への給湯も可能です。
（手洗い程度であれば、3階給湯も可能です。）

「高圧力型」とは

- 「高圧力型」は、「標準圧力型」より勢いよくお湯が出ます。
（通常使用圧力…標準圧力型:85kPa→高圧力型:170kPa）
- 「高圧力型」を事務所、店舗などでご使用する場合は、労働安全衛生法により書類の提出等が必要です。
（同梱されている「事業者さまへのご案内」を必ずお読みください。）
高圧力型電気温水器（小型温水ボイラー）に関係する法令として以下のものがあります。

　○労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）　○労働安全衛生法施行令（昭和47年政令第318号）
　○労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）　○ボイラー及び圧力容器安全規則（昭和47年労働省令第33号）

●温水器でわき上げたお湯は、配管を通って蛇口（厨房、風呂、洗面所、シャワーなど）にきます。水と混ぜて（湯水混合栓で混ぜる）お好みの温度で使用してください。

●地震などの**万一の災害時**は、タンクのお湯（水）を生活用水として利用できます。（P.18）

温水器の基本原理など

■温水器の基本原理

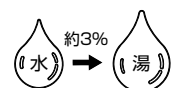
①自動給水・押上げ方式です

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通って自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。

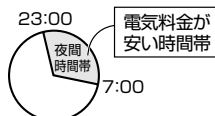
蛇口　給湯　湯　水　給水　タンク

②水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。550Lの温水器では、約17L分増えます。この増えた分を逃す目的で逃し弁が取付けられます。
わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作なのです。

水　約3%　湯

③主に、夜間にわき上げを行います

割安な夜間電力を利用して、タンク内のお湯をわき上げます。

23:00　夜間時間帯　7:00　電気料金が安い時間帯

④タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

貯湯式

もくじ

※製品仕様は、23ページをご覧ください。

■電力制度について

この電気温水器に適用できる電力制度は、**時間帯別電灯**と**深夜電力**とがあります。ご家庭のライフスタイルに合わせてお選びください。

契約している電力制度と使える機能

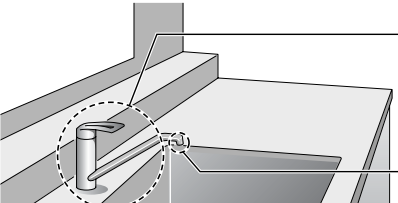
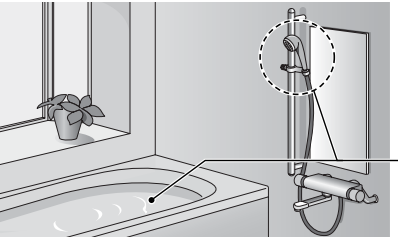
機能／電力制度	わき上げ（夜わき上げて昼使う）	わき増し（お湯が減ったら自動的に追加でわかす（昼もわかせます。））	契約の概要
時間帯別電灯	○	○	**家庭の電気製品すべてに対して** 夜間時間帯（23:00～7:00）は通常の1/3以下の割引き料金、昼間時間帯（7:00～23:00）は通常の10%～30%程度の割増料金※が適用されます。 ※割増の程度は、電力会社により異なります。
深夜電力	○	×	**電気温水器のみ** 夜間時間帯（23:00～7:00）は通常の1/3以下の割引き料金が適用されます。昼間時間帯は通電されません。電気温水器以外の電気製品は、通常の料金が適用されます。

注1.昼間時間帯、夜間時間帯は電力会社などにより異なります。　注2.電力制度については、電力会社または据付工事店（販売店）へお問合わせください。

ご使用の前に
準備
リモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

禁止	接触禁止	分解禁止	指示に従う	アース工事確認

■機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

感電注意	高温注意	発火注意

やけどを防ぐために!

⚠警告

給湯時は、湯水混合栓に手を触れない

使いはじめは、湯温を確認する

特に朝の使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。
空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。

入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する

安全に使用するために

⚠警告

- 前面カバーを開けない、温水器やリモコンを分解・改造しない
  （漏電や感電・火災の原因）
- 近くにガス類や引火物を置かない（ガスボンベからは2m以上離す。）
  （火災の原因）
- 異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「修理窓口 P.23」へ連絡する

⚠注意

- **そのまま飲用しない**
  長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化で水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し一度ヤカンなどで沸騰させてください。
  - 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用する。
  - 熱いお湯が出てくるまでの配管にたまっている水は、雑用水として使用する。
  - 固形物や変色、濁り、異臭があった場合、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼する。
- 温水器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない
  （事故・やけどの原因）
- **通電はタンクを満水にしてから行う**
  （ヒーターが過熱して故障の原因）

点検・お手入れに関する注意

⚠警告	**逃し弁の点検をする**（タンク、配管破損・水漏れの原因） 点検時は内部の配管に手を触れないでください。
	漏電遮断器の動作を確認する **（感電の原因）**
	アース工事を確認する（感電の原因） アースの取付けは、据付工事店（販売店）へお問い合わせください。
⚠注意	**凍結防止対策の確認をする** **（タンク、配管破損・水漏れの原因）**
	操作カバー・操作窓は閉じる （漏電や感電の原因）
	床面が防水・排水処理されているか据付工事店（販売店）へ確認する （水漏れによる損害の原因）

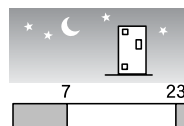
温水器を使用しないとき、使用を再開するとき

⚠警告	**温水器を使用しないときは、本書の手順にしたがい、温水器内の水を確実に抜く**（凍結による機器破損の原因） ● 排水時はお湯に手を触れないでください。 ● タンクの熱湯を直接排水しないでください。
⚠注意	**1カ月以上使用しないときはタンクの水を抜く** **（水質変化の原因）**
	初めて使用するときや使用を再開するときは、本書の手順にしたがう

部品名は各部のはたらき（P.6）をご覧ください。

ご使用にあたってのお願い

❑お湯を上手に使う
貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。
- シャワーは止めながら
（髪を洗っているときは止めましょう。）
- 洗いものをするときも止めながら

❑夜間時間帯のご使用について
この温水器は主に、夜間時間帯にお湯をわかしますので、この時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増しを行い電気代が高くなる場合があります。（時間帯別電灯契約の場合）

電気料金が安い夜間時間帯に主にお湯をわかします。
夜間時間帯は、地域や契約の内容によって異なります。

❑必ず水道水をご使用ください
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては、タンク・減圧弁・逃し弁等の寿命が通常より短くなることがあります。
- 特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。）

❑リモコンの時刻を確認する
リモコンの時刻がずれた場合は、時刻を合わせ直してください。時間帯別電灯契約の場合、時刻がずれていると、電気料金は割高になります。

❑リモコンに水をかけない
リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。（故障の原因）

❑設置状況などを確認する
以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店（販売店）へご連絡ください。
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

各部のはたらき

上部振れ止め金具

温水器を2階以上に据え付けた場合、地震のとき製品の転倒を防ぐため、壁に固定する金具です。

逃し弁操作窓

逃し弁の点検をするときに開けます。

逃し弁

わき上げ時の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を逃がす装置で、タンク内を一定圧力（193kPa）以下にします。

減圧弁

タンクへの給水圧力（170kPa）を保ちます。

タンク

操作カバー

漏電遮断器の動作点検を行うときに開閉します。

漏電遮断器

電源レバー

テストボタン

長期間使用しない場合は、電動弁スイッチを「強制開」側にします。

電動弁スイッチ

強制開　自動

電動弁ランプ　電動弁スイッチ

前面カバー

排水栓操作窓

タンクのお湯を排水するときや、非常の際にタンクの水（お湯）を取り出す場合に開けます。

形名・製造番号表示

製品の形名・製造番号などが記載されています。

排水口

逃し弁、缶体保護弁、排水栓からのお湯（水）が出ます。

「わき上げ中」や「わき増し中」は、逃し弁からの膨張水（湯）が少量出ますが故障ではありません。P.2

脚

脚部カバー（別売）

外しかた

（1）つまみねじ（2本）をゆるめる
（2）脚部カバーを上方にずらしてツメを外し、手前に引く

脚部カバー

つまみねじ

ツメ

ドレンホース

万一の水漏れの場合は、ここから排水します。

リモコンのはたらき

リモコン形名：RMC-8

MITSUBISHI
DIAHOT
RMC-8

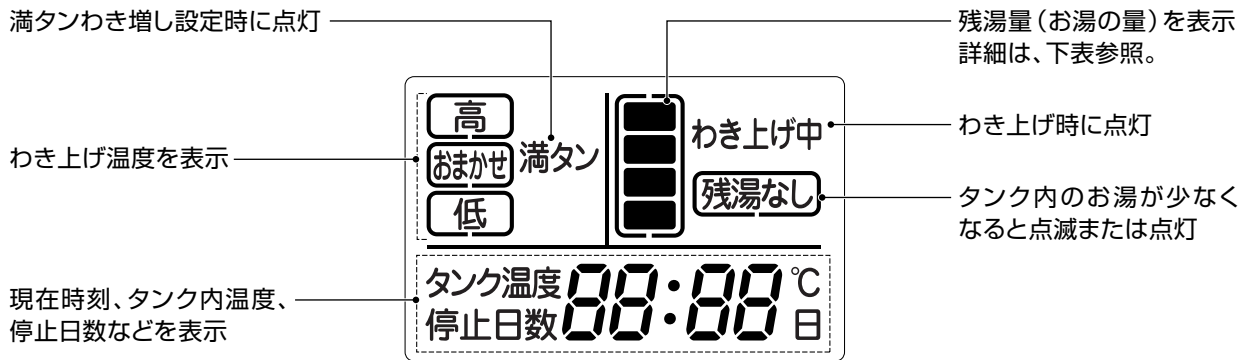
- リモコン形名
- バックライト付き
  ※約1分間以上、スイッチ操作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。
- タンク内の湯のわき増しができます。 P12
- わき上げ温度が設定できます。 P11
- 現在のタンク内（上部）の湯温を表示します。 P11
- 昨日のわき上げ状態や電力使用量を確認することができます。 P14
  また、電力契約モードを設定するときに使用します。 P14
- 数日間温水器のわき上げを停止するとき使用します。 P13
- 現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P10

ふたを開けた状態です。

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

- 満タンわき増し設定時に点灯
- わき上げ温度を表示
- 現在時刻、タンク内温度、停止日数などを表示
- 残湯量（お湯の量）を表示 詳細は、下表参照。
- わき上げ時に点灯
- タンク内のお湯が少なくなると点滅または点灯

高 おまかせ 低 満タン わき上げ中 残湯なし タンク温度 停止日数 88:88 ℃ 日

■残湯量の見かた

残湯量表示	■■■■	■■■	■	点滅 残湯なし	点灯 残湯なし	点灯 残湯なし	■■
お湯の量	450L以上（ほぼ満タン）	200L以上450L未満	75L以上200L未満	75L未満	残湯なし（湯切れ）	75L未満	75L以上200L未満
お湯の増減	減 →					→ 増	

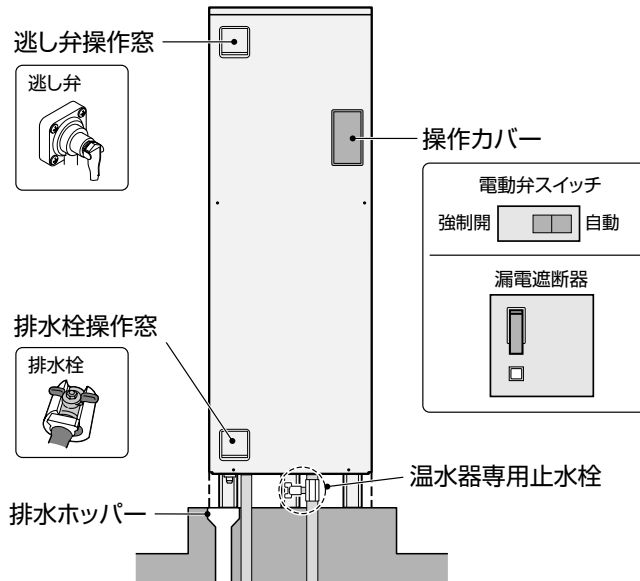
ポイント
- 残湯量表示の「■」は45℃以上のお湯を表しています。
- 自然放熱などでタンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。

ご使用の前に　準備　リモコンの使いかた　こんなとき　故障かな

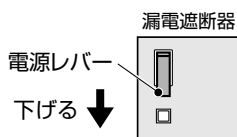
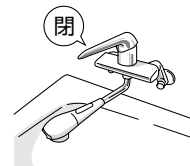
タンクに水を入れる（準備）

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で温水器の使用を再開します。
またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、P17に従い、いったんタンクの水抜きをしてから次の手順を行なってください。
必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合があります。

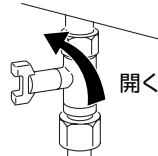
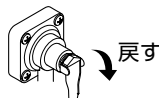
※温水器を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

逃し弁操作窓
逃し弁
操作カバー
電動弁スイッチ
強制開　自動
漏電遮断器
排水栓操作窓
排水栓
温水器専用止水栓
排水ホッパー

ポイント ●温水器専用止水栓が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

1.以下のことを確認する

（1）漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は、電源レバーを下げ、「切」にする	（2）温水器の排水栓が閉じていることを確認する	（3）すべての蛇口（湯水混合栓）が閉じていることを確認する
漏電遮断器 電源レバー 下げる	閉	閉

ポイント ●脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行なってください。（P6）

2.タンクを満水にする

（1）逃し弁のレバーを手前に起こす	（2）温水器専用止水栓を開き、タンクへ給水する
手前に起こす	開く
（3）満水になったら、逃し弁のレバーを戻す	（4）給湯配管の空気を抜くため、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開く（1カ所）
戻す ●タンクが満水になると排水口から水がでます。(満水までの目安:約30分)	●空気が抜け、蛇口から水が出たら蛇口を閉じてください。

ポイント
- **タンクを満水にしてから電源を入れてください。タンクが満水になっていないとリモコンに「F07」エラーが表示され、わき上げを行いません。**
- 温水器専用止水栓は閉じないでください。

3.電源を入れる

（1）200V電源ブレーカーを「入」にする

入

（2）漏電遮断器の電源レバーを上げ、「入」にする

漏電遮断器
電源レバー
上げる

（3）電動弁スイッチが「自動」になっているか確認する（なっていない場合は「自動」側へスライドしてください。）

電動弁スイッチ
強制開　自動
右側へスライド

ポイント
- 電源を入れても、すぐにわき上げは行いません。電気料金の安い夜間時間帯（地域や電力契約の内容によって異なります）にわき上げを行います。
- 電源を入れると本体が電力契約判定モードに入るため、「バックライト消灯、時刻表示なし」の状態になることがありますが故障ではありません。電力契約判定が終了すると、バックライト、時刻が点灯します。

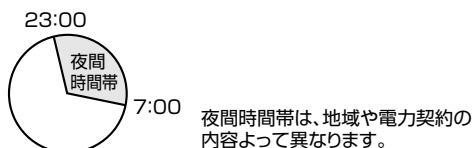
4.わき上げ温度を設定する

リモコンで以下の設定、確認を行なってください。

①時刻を合わせる（P10）
②電力契約モードを確認する（P14）※時間帯別電灯でご契約のお客さまのみ
③タンクのわき上げ温度を設定する（P11）
④すぐにお湯が必要な場合は、満タンスイッチを押す（P12）※時間帯別電灯でご契約のお客さまのみ

5.夜間時間帯にお湯をわき上げます。

わき上げ中は、リモコンに「わき上げ中」が表示されます。

23:00
夜間時間帯
7:00
夜間時間帯は、地域や電力契約の内容よって異なります。

ポイント
- 時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げることがあります。
- リモコンに「残湯なし」が表示されます。お湯が増えると「残湯なし」が消え、残湯量表示の目盛も増えていきます。

残湯なし

6.お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

「低」にしてから

⚠警告
使いはじめは、やけどに注意する
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

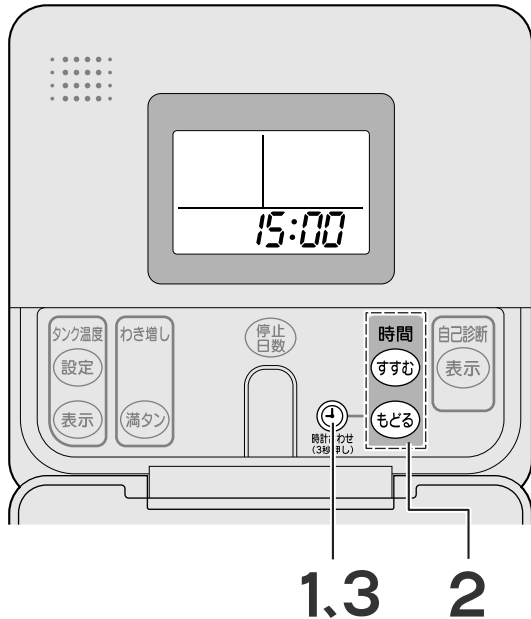
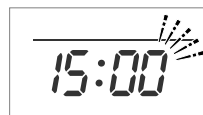
時刻を合わせる

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。

注.温水器を複数ご使用のときは、すべてのリモコンで時刻を合わせてください。

リモコン

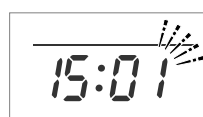
タンク温度 設定 表示 わき増し 満タン 停止日数 時間 すすむ もどる 自己診断 表示 時計合わせ(3秒押し) 15:00

1、3　2

1 を3秒以上押す

時計合わせ
（3秒押し）

15:00
例）午後3時

- 各スイッチ操作は約10秒以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

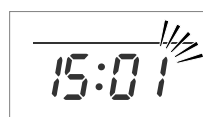
2 すすむ または もどる を押して時刻を合わせる

▶押すごとに、1分間ずつ数字がかわります。
▶押し続けると表示が連続してかわります。

15:01
例）午後3時1分

- 表示部の時刻が点滅中に行なってください。

3 を押す

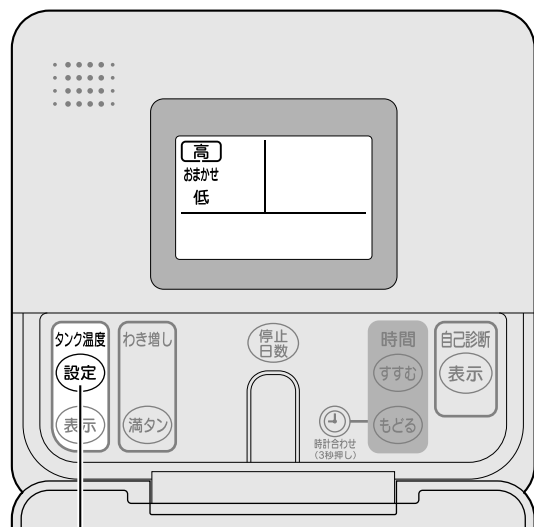
▶設定完了です。

15:01

ポイント
- **時計の時刻は停電などにより若干変動します。**
- 表示部に「00:00」が点滅している場合は、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。わき上げできません。

わき上げ温度を設定する

使い始めは「高」に設定することをおすすめします。

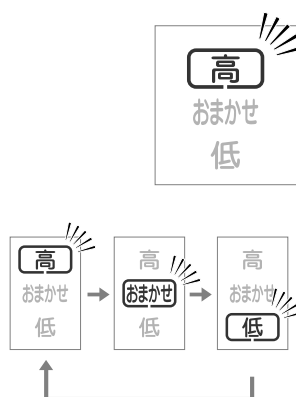
注.温水器を複数ご使用のときは、すべてのリモコンを同じ設定に合わせてください。

リモコン

表示	わき上げ温度の目安	わき上げ動作内容
高	約85℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。
おまかせ	〈冬期〉 約80～85℃ 〈春～秋〉 約75～85℃	●季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。
低	約75℃	●最小限のわき上げを行います。使用量が多いとお湯が不足しますので、「高」または「おまかせ」に設定してください。

注.わき上げ温度は最高85℃ですが、放熱によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。

1 タンク温度 設定 を押す

▶押すごとに表示が切り換わります。（□枠が移動します。）

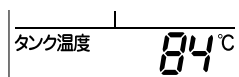
▶設定完了です。

- 工場出荷時は、「高」に設定されています。
- [ ]:点灯

タンク内の温度を表示する

温水器のタンク内上部の温度を表示します。

1 表示 を押す

▶時刻表示から、タンク内の温度表示に切りかわります。約10秒間表示後、時刻表示に戻ります。

タンク温度 84℃

ポイント

- タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、設定温度よりも低く表示されることがあります。（通常、温度の低下は、1時間に約1℃ですが、外気温度によってはそれ以上低下することがあります。）
- わき上げ中は、タンク内の湯温表示が変動することがあります。

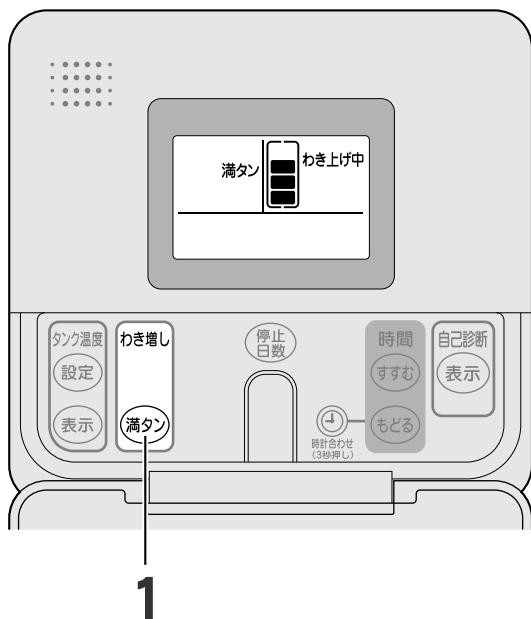
たくさんお湯を使う（満タンわき増し）

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。深夜電力でご契約のお客さまは、ご利用できません。

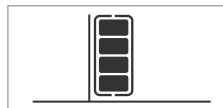
満タンわき増し

タンクのお湯が減るとヒーターに通電し、タンク内をお湯でいっぱいにしておく機能です。
設定したその日（昼間時間帯[注]）は何回でもタンク全体のわき増しを行います。
来客などでたくさんのお湯が必要なときは、満タンわき増しを設定してください。

注.昼間時間帯、夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。

リモコン

1 （満タン）を押す

▶表示部に「満タン」が表示されます。
▶設定完了です。

未設定時

設定時

- 解除するときは、もう一度満タンスイッチを押します。（満タン表示が消えます。）
- ［ ］:点灯

お湯が減ると、わき増しを開始します。

▶わき増し中は、表示部に「わき上げ中」が表示されます。

わき増し時

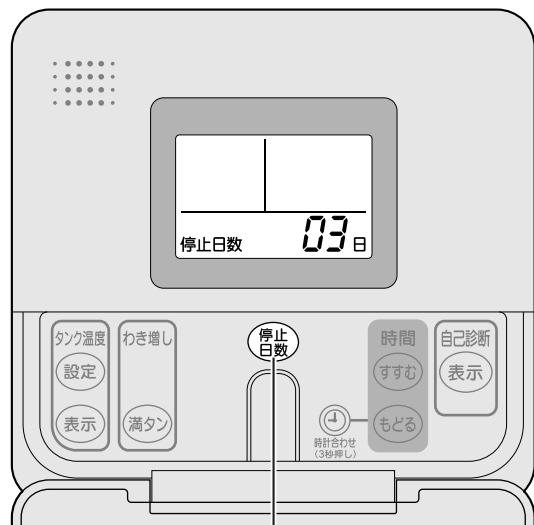
- 約100L使用すると、わき増しを開始します。

ポイント
- 満タンわき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割高になります。
- 満タンわき増しは時刻を設定していないと使用できません。

数日間わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ温水器のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

リモコン

タンク温度 設定 表示 わき増し 満タン 停止日数 時間 すすむ もどる 時計合わせ（3秒押し） 自己診断 表示

停止日数 03 日

1、2

わき上げ停止日数の決めかた

例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する
　　3泊4日の旅行の場合

- 出発日（1日）に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。
  1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

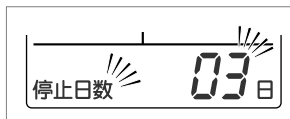
日付	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
昼間のお湯の使用	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用する

- 出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。
  帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

〈予定日より早く帰宅した場合〉
最初に停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。時間帯別電灯でご契約のお客さまは、満タンわき増しを行うと、その日にお湯を使用できます。

1 停止日数 を押す

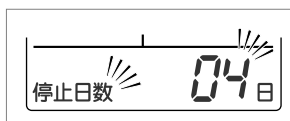
▶「停止日数」が表示されます。

停止日数 03 日

- [点灯マーク]：点灯

2 設定する日数が表示されるまで 停止日数 を押す

▶押すごとに表示部の停止日数が進みます。（押し続けると、表示が連続して進みます。）

▶設定完了です。
設定後は、停止日数が表示されます。

停止日数 04 日

例）4日

- 設定範囲は、「2〜15日」、「連続停止」です。

表示	停止日数
--	連続停止
15	15日
⟆	
02	2日
13:50 現在時刻表示	解除

- 連続停止（--）を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。
- 解除するときは「現在時刻表示」にします。

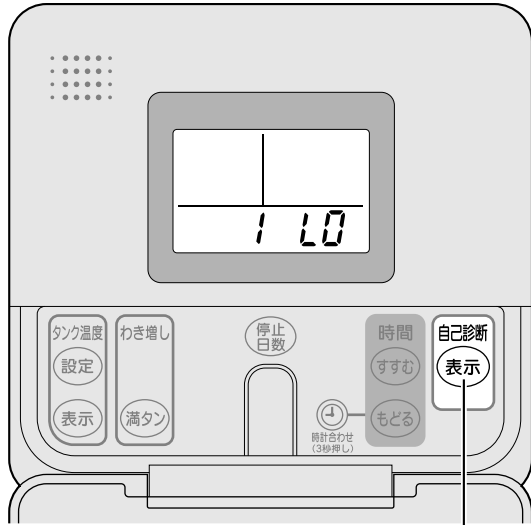
ポイント
- 停止期間中に、満タンわき増し、現在時刻の設定を行うと自動解除されます。
- 停止期間中にエラーが発生した場合、停止日数は解除されます。
- すぐに使用しないときは、P.17 の手順に従って、温水器の水抜きをしてください。

温水器を診断する（自己診断モニター機能）

この温水器は、お湯のわき上げ状態を表示することができます。お湯の量がたりなくなったときや設定したわき上げ温度までわき上げできなかったときは、原因を確認することができます。
また、昨日の電力使用量を調べることや、電力契約モード（電力契約に合わせて工事店が設定します。）を確認することができます。

リモコン

タンク温度 設定 表示 わき増し 満タン 停止日数 時間 すすむ もどる 時計合わせ（3秒押し） 自己診断 表示

1 LO

1,2

わき上げ状態の見かた

表示	わき上げ状態	お湯がたりなくなった原因
LO	●わき上げは完了しています。（据付工事直後や2時間以上の停電後、最初にわき上げが完了するまでは「LO」が表示されます。）	●昼間時間帯にたくさんのお湯を使用したため、湯量不足になりました。
L1	●給水水温が低かったため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	●わき上げ温度が低いため、使用できる湯量が少なくなり、お湯がたりなくなりました。
L2	●夜間時間帯にお湯を使用したため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	
L3	●夜間時間帯にお湯を使用したため、または夜間時間帯に2時間以上停電したため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	

時間帯別電灯でご契約のお客さまは、お湯がたりなくなった場合は「たくさんお湯を使う（満タンわき増し）12」を利用してください。

1 自己診断 表示 を押す

▶「わき上げ状態」が表示されます。

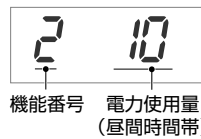
1 LO
機能番号　わき上げ状態

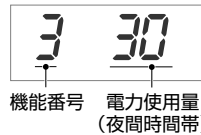
●各スイッチ操作は約10秒以内に行なってください。

2 自己診断 表示 を押して 機能番号を送る

▶押すごとに、番号が進みます。（1→2→3→EP→時刻表示）

2 10
機能番号　電力使用量（昼間時間帯）

3 30
機能番号　電力使用量（夜間時間帯）

EP 01
電力契約モード

●電力使用量では、表示された数字が使用量(kWh)の目安です。

■電力契約モードの内容（平成23年11月現在）

表示	適用電力制度
EP 01	●東京電力:電化上手 ●関西電力:はぴeタイム、はぴeプラン ●沖縄電力:Eeらいふ
EP 02	●中部電力:Eライフプラン
EP 03	●中国電力:ファミリータイム
EP 04	●北海道電力:eタイム3 ●北陸電力:エルフナイト10プラス ●九州電力:電化deナイト
EP 05	●東北電力:やりくりナイト8 ●東京電力:おトクなナイト8 ●北陸電力:エルフナイト8 ●中部電力:タイムプラン ●関西電力:時間帯別電灯 ●四国電力:電化Deナイト、得トクナイト ●九州電力:時間帯別電灯[8時間型] ●沖縄電力:時間帯別電灯

表示	適用電力制度
EP 06	●東北電力:やりくりナイト10、やりくりナイトS ●東京電力:おトクなナイト10 ●北陸電力:エルフナイト10 ●九州電力:よかナイト10
EP 07	●中国電力:エコノミーナイト
EP 08	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(A:夜間時間帯22時～6時)
EP 09	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(B:夜間時間帯23時～7時)
EP 10	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(C:夜間時間帯24時～8時)

注.お客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。
温水器を複数ご使用のときは、すべてのリモコンを同じ設定に合わせてください。

〈設定方法〉手順2の電力契約画面（EP 表示）で、すすむ または もどる を押し、表示 で決定

お手入れと点検

日常のお手入れ

❑本体・リモコンのお手入れ

本体やリモコンの表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

ポイント ●ベンジジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。

❑時刻の確認

リモコンの時刻がずれていると電気料金が高くなる場合があります。1カ月に1回程度確認を行い、ずれている場合は時刻を合わせ直してください。(P.10)

1年に2～3回程度のお手入れと点検

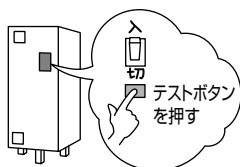
点検中（漏電遮断器の動作点検、逃し弁の点検）やタンクのお手入れ中は、お湯を使用できません。

❑漏電遮断器の動作点検

動作点検は、200V電源供給中[注]に行なってください。

注.時間帯別電灯でご契約の場合は、いつでも点検できます。
深夜電力でご契約の場合は、夜間時間帯に行なってください。

①操作カバーを開け、テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

②必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す

入
切
テストボタンを押す

⚠警告	漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因）

ポイント ●電源レバーが「切」にならない場合は、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店（販売店）にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行なってください。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

⚠注意	配管を点検をする マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

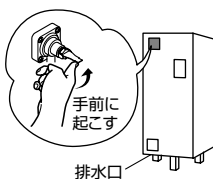
ポイント ●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

〈動作点検〉

逃し弁操作窓を開けて逃し弁のレバーを手前に起こし、排水口から水（お湯）が出ることを確認します。水（お湯）が出れば正常です。

手前に起こす
排水口

〈水漏れ点検〉

わき上げをしていないとき（リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき）、排水口から水（お湯）が出ていないかを確認します。水（お湯）が出ていなければ正常です。水（お湯）が出ている場合は、逃し弁のレバーを数回動かしてください。

⚠警告	点検時は配管に手を触れない（やけどの原因）
⚠注意	逃し弁の点検をする（やけどの原因）

ポイント
●逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。（点検時は、転倒しないよう注意してください。）
●動作点検、水漏れ点検を行って正常ではない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑タンクのお手入れ

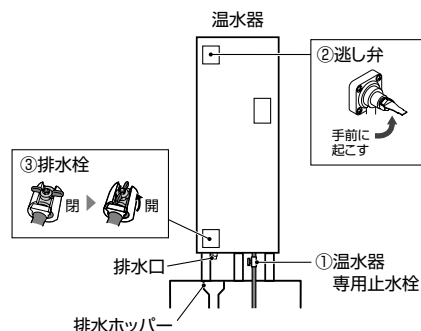
①温水器専用止水栓を閉じる
②逃し弁のレバーを手前に起こす
③排水栓を約1～2分間開く

タンクの下部にたまった汚れを排水します。排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

④汚れがなくなったら排水栓を閉じる

汚れが多い場合は、数回繰り返します。

⑤温水器専用止水栓を開く
⑥排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁のレバーを戻す

温水器
②逃し弁
手前に起こす
③排水栓
閉 開
排水口
①温水器専用止水栓
排水ホッパー

⚠警告	排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）

ポイント
●温水器専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。
●わき上げ中は行わないでください。
●タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管（溝）のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店（販売店）へご連絡ください。（有償）

凍結防止

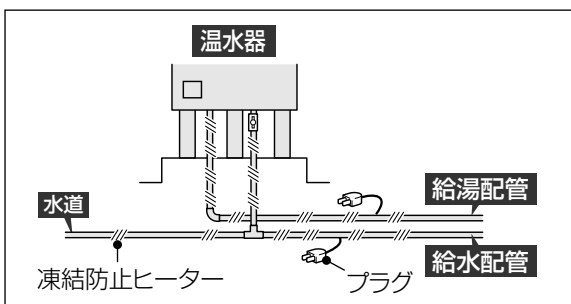
据付工事店（販売店）へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。
寒い季節になったら、凍結防止処置（凍結防止ヒーターのプラグを入れる）が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、温水器や配管が破損することがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）

⚠注意

- 凍結防止処置の確認をする
  凍結するとタンクや配管が破損し、やけどや水漏れをすることがあります。

❑凍結防止ヒーターを使う

凍結防止ヒーターが図のように設置されているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。

温水器
水道
給湯配管
給水配管
凍結防止ヒーター
プラグ

ポイント

- 配管が凍結した場合は、温水器専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

温水器を使用しない

温水器をすぐに使用しないときは、運転を止め、下記要領で水抜きを行なってください。
水抜きを行わないと凍結により温水器が破損することがあります。
また、長期間（1カ月以上）温水器を使用しないと、水質が変化することがあります。

⚠警告

温水器を使用しないときは、本書の手順にしたがい、温水器内の水を確実に抜く（凍結による機器破損の原因）
- 排水時はお湯に手を触れない
- タンクの熱湯を直接排水しない

⚠注意

1カ月以上使用しないときはタンクの水を抜く（水質変化の原因）

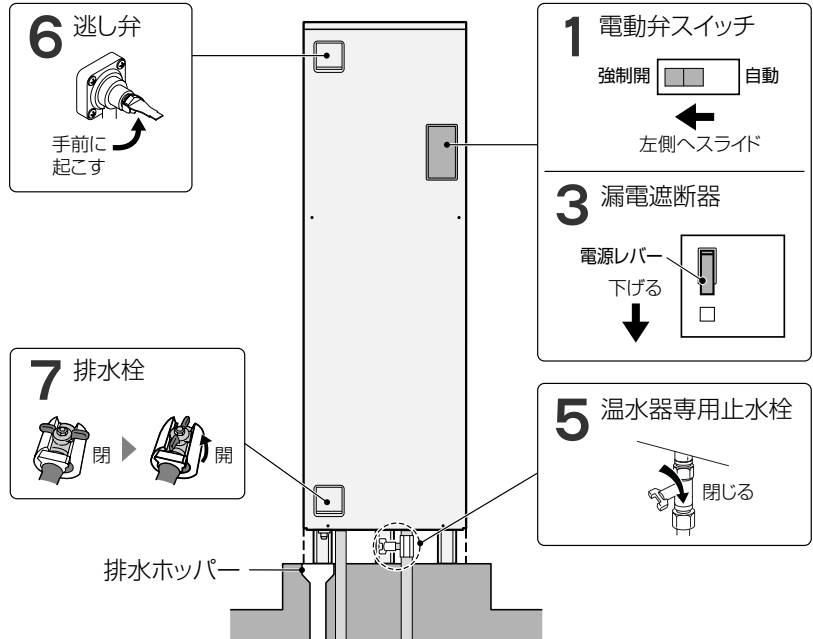
6 逃し弁
手前に起こす

1 電動弁スイッチ
強制開　自動
左側へスライド

3 漏電遮断器
電源レバー
下げる

7 排水栓
閉　開

5 温水器専用止水栓
閉じる

排水ホッパー

1 電動弁スイッチを「強制開」にする

電動弁ランプが点灯します。
開くのに約15秒かかります。

- 電動弁スイッチは、再び使用するときまで「強制開」にしておいてください。
- 電動弁ランプが点灯しない場合は、漏電遮断器の電源レバーを「入」にして、再度行なってください。

2 温水器に脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外す

- 脚部カバーの外しかたは、「P6」参照。

3 電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にする

- 電気の供給を停止します。（あらかじめ前日に「切」にしておけば、ムダにお湯を捨てることがなくなります。）

4 タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す

熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。

- お湯の温度を調節して60℃以下で排水してください。

5 温水器専用止水栓を閉じる

タンクへの給水を止めます。

- 温水器専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。

6 逃し弁のレバーを手前に起こす

タンクへ空気を取り入れます。

7 排水栓を開く

タンクの水（お湯）を抜きます。
水が抜けるまでに約40分〜50分かかります。

- 排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

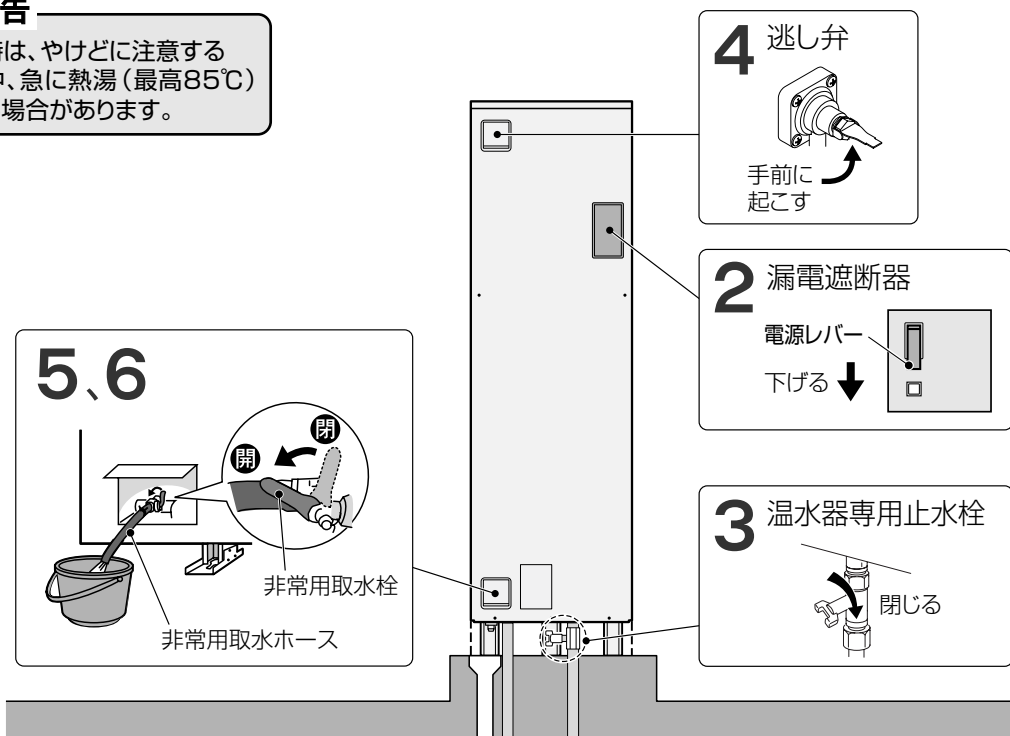
8 水抜き完了後、1時間程度放置してから、排水栓を閉じる

9 手順1で外した脚部カバーの前面カバーを取り付ける

ポイント
- 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。タンクが負圧になり破損する原因となります。（逃し弁のレバーは再び使用するときまで戻さないでください。）
- 再び使用するときは、排水栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（P8）を行なってください。

災害時にタンクの水を取り出す

タンクの水（お湯）を生活用水として利用できます。
非常用取水ホースは、本体の内部（前面カバーに沿って）に収納されています。
（操作方法は、本体の前面カバーにも貼ってあります。）

⚠警告
取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯（最高85℃）が出る場合があります。

1 温水器に脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外す	●脚部カバーの外しかたは、「P6」参照。
2 漏電遮断器の電源レバーを「切」にする 電気の供給を停止します。	
3 温水器専用止水栓を閉じる タンクへの給水を止めます。	●温水器専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。
4 逃し弁のレバーを手前に起こす タンクへ空気を取り入れます。	
5 非常用取水ホースを排水栓操作窓から出す	●他のホースが抜けないように注意してください。
6 非常用取水栓を開く タンクの水（お湯）を取り出します。バケツなどで受けます。	
〈取水が終わったら〉 **7 非常用取水栓を閉じる**	

ポイント ●再び使用するときは、非常用取水栓が閉じていることを確認し、逃し弁のレバーを戻してから、タンクに水を入れる（「P8」）を行なってください。

停電・断水時（水が濁る）など

❑停電したとき

①わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。

②メモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げ温度」などは記憶されています。リモコンの設定は停電前の設定に戻ります。**ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。**

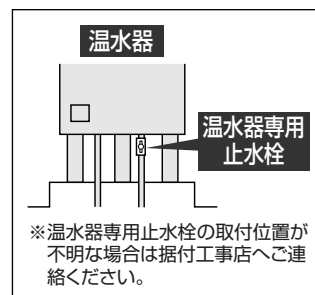
ポイント
- 時間帯別電灯でご契約の場合、正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。
- 停電しても電源は切らないでください。

❑断水したとき（水が濁る）

①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、温水器専用止水栓を閉じてください。（閉じると温水器からのお湯が止まります。）閉じないでそのまま使用すると、濁った水で温水器のストレーナー部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

②断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。

③工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、温水器専用止水栓を開いて使用を再開してください。

※温水器専用止水栓の取付位置が不明な場合は据付工事店へご連絡ください。

❑給湯をとめるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、温水器からの給湯を止めるときは、水道の元栓と温水器専用止水栓を閉じてください。

ポイント
- パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行なってください。

定期点検（有料）

温水器を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。
定期点検については、据付工事店（販売店）または「修理窓口」へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

❑定期点検の主な内容

項　目	内　　容
据付状態	設置面（万一、水漏れが生じた場合、床下や下層階への水の浸入を防止するために、排水・防水できるようになっているか）、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）、給水用具（逆流防止装置）※ などの点検および消耗部品の交換 ※給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をします。
清　　掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、温水器のストレーナーの掃除、機能部品の掃除

- 長期間（10年程度）使用されている場合は、毎年定期点検をお受けください。

❑消耗部品

下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。

- 減圧弁　● 逃し弁　● 電動弁　● ヒーター　● パッキン類　● センサー類

（使用水質によって3年程度で消耗・劣化しやすい場合があります。）

故障かな?と思ったら

	症状	処置·確認事項
お湯	お湯が出ない 出が悪い	●温水器専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。 ●断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ●配管凍結している場合は、温水器専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。(P.8) ●配管内の冷めたお湯が出てから、お湯が出ます。 ●湯水混合栓が開いたまま放置されている場合は、必ず閉じてください。 ●電動弁スイッチが「強制開」になっている場合は、電動弁スイッチを「自動」にしてください。(P.6)
お湯	お湯が足りない	●お湯をたくさん使用した場合、翌日まで使用できません。ただし、時間帯別電灯でご使用のお客さまは、わき増しをご利用ください。(P.12) ●わき上げ温度の設定を1ランク上げてください。(P.11) ●わき上げを行なっていないときに、逃し弁の排水口から水(お湯)が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。(P.15)
お湯	お湯がわかない	●200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。 ●停止日数設定中は停止日数を解除(P.13)し、わき増し(P.12)を利用してください。
お湯	お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となってでてくる現象です。少し時間をおくと消えます。
お湯	お湯から油がでる、 お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。臭いが気になる場合は本書の手順(P.17)によりタンク内の湯を入れかえてください。
お湯	タンク内の温度が設定した温度より低い	●タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下します。
お湯	浴槽や洗面器等に 青い線がつく	●湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので、身体に害はありません。台所用の油汚れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。
お湯	浴槽の水が青く見える	●光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。浴槽等はよく洗ってください。青い線がつきにくくなります。
温水器	排水口からお湯(水)が 出ている	●わき上げ中は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。(P.2) ●わき上げを行なっていないときに、お湯(水)が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。(P.15)
温水器	夜間時間帯になっても すぐにわき上げを 行わない	●給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。(ピークシフト機能)
温水器	本体の電動弁ランプが 点滅している	●電動弁の動作チェックをしています。正常動作です。 しばらくするとランプが消えます。

症状		処置·確認事項
操作	設定したわき上げ温度までわき上がらない	●以下のことを行うとタンク内の湯温がわき上げ温度まで上がらない場合があります。配管からの放熱や外気温度が低い場合も同様です。 ①わき上げ中に、お湯を使用した場合 ②わき上げ温度の設定を高くした場合 ③給水水温が低く、残湯量が少ない場合 ●給水水温…10℃以下　●残湯量…20L未満
操作	わき増しの設定ができない	●電力制度の契約が「深夜電力」契約のお客さまは、わき増しを利用できません。電力制度の契約については電力会社へご相談ください。
操作	満タンスイッチを押してもわき上げを開始しない	●タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。満タンわき増し設定中は、タンク内のお湯が満タンの状態から約100L減ったとき、自動的にわき上げを開始します。
リモコン表示部	点灯しない（電源が入らない）	●漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。
リモコン表示部	リモコンの時刻表示が「00:00」で点滅する	●時刻を合わせ直してください。（P10）
リモコン表示部	お湯を使っていないのに残湯量表示が消える	●自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
リモコン表示部	エラーが表示されている	●下表（リモコンにエラーが表示された場合）に従って、処置を行なってください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店または「修理窓口（P23）」へご相談ください。

リモコンにエラーが表示された場合

表示	原因·処置
U01	●深夜電力が供給されていません。電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「入」にしてください。「入」にしても、2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店（販売店）、または「修理窓口」（P23）へご連絡ください。
F07	●タンク内に水がありません。タンクが満水でないとき「F07」が表示されます。「F07」表示が消えるまで湯側の蛇口を開くか逃し弁のレバーを手前に起こして、タンクを満水（蛇口や排水口からお湯または水が出る）にしてください。
その他の表示（E00）など	●温水器の異常です。電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）または「修理窓口」（P23）へご連絡ください。

保証とアフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）

●据付工事説明書（別添付）で指定されていない当社指定部品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間

保証期間	対象
2年間	本体（逃し弁、減圧弁）、リモコン、リモコンケーブル、パッキン
3年間	ヒーター
5年間	タンク不良による水漏れ

※保証期間を延長できる「延長保証制度」があります。（詳細は下記参照）

■補修用性能部品の保有期間

●当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店かお近くの「修理窓口・ご相談窓口」（右一覧表）へご相談ください。

■修理を依頼されるときは

●「故障かな?と思ったら」（P.20）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。

●保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金は

技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

●ご連絡いただきたい内容

- 品名：三菱 電気温水器
- 形名：（例）SRT-556BUA（エスアールテー ビー ユー エー）
- お買上げ日：年月日
- 故障の状況：できるだけ具体的に
- お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日

※形名は温水器の前面カバーに表示されています。（P.6）

●施工上の不具合による故障及び損傷が生じた場合や据付（接続・調整等）、取扱説明を依頼された場合は保証期間内であっても無償保証の対象外となります。

延長保証制度

給湯機の保証期間は保証とアフターサービスに記載の通りですが、保証期間を延長できる「延長保証制度」をご用意させていただいております。延長保証期間が8年間と5年間の2タイプご用意しています。

〈保証期間〉

延長保証期間8年間の場合 商品購入日から8年間の長期保証 メーカー保証期間と延長保証期間の合計で8年間となります。

申込有効期間 3カ月以内

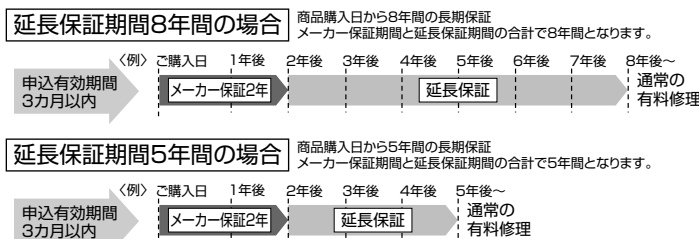
〈例〉ご購入日 1年後 2年後 3年後 4年後 5年後 6年後 7年後 8年後～

メーカー保証2年 → 延長保証 → 通常の有料修理

延長保証期間5年間の場合 商品購入日から5年間の長期保証 メーカー保証期間と延長保証期間の合計で5年間となります。

申込有効期間 3カ月以内

〈例〉ご購入日 1年後 2年後 3年後 4年後 5年後～

メーカー保証2年 → 延長保証 → 通常の有料修理

●製品ご購入時あるいはご購入日から3カ月以内にお申し込みください。
●延長保証はメーカー保証終了後からのスタートとなります。延長保証は、メーカー保証を含め、ご購入日〈使用開始日〉から8年間または5年間の長期保証となります。また延長保証終了後は通常の有料修理に移行いたします。
●保証金額は本体のご購入価格が限度となります。
●当制度の詳細は三菱電機延長保証申込受付センターまでお問い合わせください。

〈保証内容〉

延長保証期間中に対象商品に故障が発生した場合に、修理費を保証します。

保証する修理費用 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料

〈延長保証対象商品と保証料〉 2011年10月現在（保証料は変更する場合があります）

三菱 電気温水器	
8年間保証料 9,750円（税抜価格 9,286円）	5年間保証料 4,935円（税抜価格 4,700円）

〈資料のご請求は〉

三菱電機延長保証申込受付センター
0120-867-789
受付時間:平日午前9:00～午後5:30
（土日祝祭日、年末年始及び所定の休業日を除く）

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口** へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

フリーコール　0120-139-365（無料）（いつもサンキュー　365日）

携帯電話・PHS・IP電話の場合

三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001　東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049（有料）	(03) 3414-9655（有料）

■ご相談対応　平　日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル　0120-56-8634（無料）

インターネット　www.melsc.co.jp

携帯電話サイト　空メールの送り先：fc8634@melsc.jp
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合

地域	窓口	電話
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K11A

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

仕様

項目		仕様
形名		SRT-556BUA
圧力タイプ		高圧力型
適用電力制度		時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力8時間（通電制御型）
設置場所		屋内・屋外
タンク容量		550L
定格電圧	時間帯別電灯契約時	単相200V
	深夜電力契約時	単相200V＋単相100V
定格消費電力	最大消費電力	6.408kW
	ヒーター	6.4kW
	制御用	5W（通常時）、8W（最大時）
わき上げ温度		約75℃～約85℃
外形寸法（高さ×幅×奥行）		2170×690×790mm
製品質量（満水時）		92kg（642kg）
水側最高使用圧力		193kPa
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁
給水器具認証書番号		W009-20001-017
リモコン		取付必須（RMC-8）

困ったときは

よくあるご質問

ご質問	お答えします
お湯を使っていたら、水が出てきた	湯切れです。温水器は、貯湯式のため1日に使用できるお湯の量は限りがあります。
浴槽の水が青く見える	光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンと湯あかが反応してできた銅石けんによって浴槽などが青くなることがあります。浴槽や洗面台はよく洗ってください。青い線が付きにくくなります。
電源を「入」にしてもお湯が出ない	設置直後の使い始めなど、タンク内が水の状態で電源を「入」にしてもすぐにお湯は使用できません。 タンク全体がわき上がるまで約8時間かかります。
排水口からお湯(水)や湯気が出る	わき上げ中は、お湯が少しずつ排水されます。
安定した温度で使いたい	この温水器を使用した「大容量給湯システム」では、必ず、すべてのリモコンのわき上げ温度を同じ設定にしてください。

リモコン表示に関するお知らせ

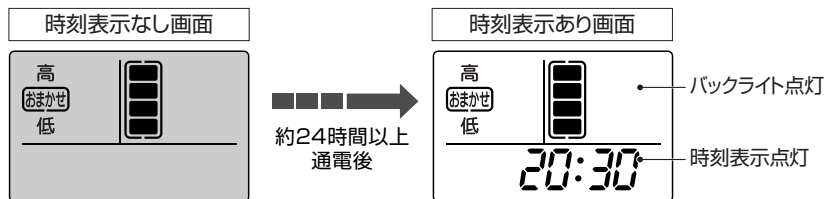
長期不在時など温水器の電源ブレーカーが何日間か切れた状態で、再度電源を入れた場合、リモコンの画面が**時刻表示なし画面**になることがありますが、製品(温水器またはリモコン)の故障ではありません。**約24時間以上通電すると、時刻表示あり画面になります。**

時刻表示なし画面

高
おまかせ
低

約24時間以上
通電後

時刻表示あり画面

高
おまかせ
低
20:30

バックライト点灯
時刻表示点灯

時刻表示なし画面で使用できない機能	●時刻の設定 ●タンク温度表示 ●バックライト ※わき上げ温度の設定等、他の操作は行えます。

製品形名〈製造番号〉	SRT-556BUA 〈 〉	据付工事店(販売店)の店名・住所・電話番号
リモコン形名	RMC-8	
お買上げ日	年 月 日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

愛情点検

★長年ご使用の温水器の点検を!

●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか	●水が漏れている ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、温水器専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。

三菱電機株式会社

群馬製作所 〒370-0492 群馬県太田市岩松町800

T962Z295H02〈2012-10〉